

評価主体	評価項目	No.	調査名
海域WG (13項目)	、	1	衛星リモートセンシングによる水温・クロロフィルaの観測
	、	2	海洋観測ブイによる水温の定点観測
	、	3	アザラシの生息状況の調査
	、	4	海域の生物相、及び、生息状況（浅海域定期調査）
	、	5	浅海域における貝類定量調査
	、		航空機による海水分布状況観測
	、		アイスアルジーの生物学的調査(種組成、色素量(クロロフィルa量))
	、		「北海道水産現勢」からの漁獲量変動の把握
	、		スケトウダラの資源状態の把握と評価(TAC設定に係る調査)
	、		スケトウダラ産卵量調査
	、		トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、特性
	、		トドの被害実態調査
	、		海水中の石油、カドミウム、水銀などの分析
エゾシカ・陸上生態系WG (12項目)	、	7	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(林野庁1ha囲い区)
	、	8	エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(環境省知床畔囲い区)
	、	9	密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査
	、	10	エゾシカの採食圧の把握に関する広域植生調査
	、	11	シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査
	、	12	エゾシカ越冬群の広域航空カウント
	、	13	陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況(外来種侵入状況調査含む)
	、	14	陸生鳥類生息状況調査
	、	15	中小大型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)
	、	16	広域植生図の作成
	、		エゾシカ主要越冬地における地上カウント調査(哺乳類の生息状況調査を含む)
	、		エゾシカ間引き個体、自然死個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査
河川工作物A P (2項目)	、	17	河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数モニタリング
	、	18	淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)
適正利用・エコ ツーリズム WG (2項目)	、	6	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査
	、	19	利用実態調査
科学委員会 (7項目)	、	21	気象観測
	、	22	海ワシ類の越冬個体数の調査
	、	23	シマフクロウの生息数、繁殖の成否、繁殖率と巣立ち幼鳥数、餌資源などに関する調査、標識や発信機装着による移動分散調査、死亡・傷病個体調査と原因調査
	、	24	年次報告書作成による事業実施状況の把握
	、	25	年次報告書作成による社会環境の把握
	、		オジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング
	、		全道での海ワシ類の越冬個体数の調査

■ = 地元自治体、関係団体、専門家、その他の行政機関等に情報の共有を依頼する調査

「ヒグマの目撃・出没状況、被害発生状況に関する調査」については、当面はヒグマ保護管理方針検討会議で評価する。